

GC/MS に 最適な新しいカラム

Agilent J&W DB-5Q および
HP-5Q GC カラム



GC/MS の新たな基準

Agilent J&W 5Q GC カラムは、分析対象物を最適な状態で四重極に移送できるように設計されています。業界をリードする優れた不活性度と超低ブリード技術を兼ね備えており、GC/MS カラムの信頼性と生産性の新たな基準を打ち立てます。

- **超低ブリード性能**により、高いスペクトル忠実度と安定したベースライン積分でデータ精度を向上
- **優れた不活性度**によって高活性の微量化合物分析の感度が向上し、多成分パネルにおいてバランスのとれた不活性処理を実現
- **超高速コンディショニングと優れたカラム耐久性**でカラムの交換頻度が低下し、稼働時間が改善
- **現行の 5ms カラムと同等の選択性**のため、既存のリテンションタイムライブラリやリテンションタイムロッキングへの適応が容易
- **あらゆる GC/MS システムとの互換性**があり、すべての Agilent GC プラットフォームへのシームレスな組み込みが可能

50
Years

Agilent J&W
GC Columns
Confidence in
every separation



50 年にわたり GC カラム技術 革新を先導

2024 年は、Agilent J&W GC カラムの誕生 50 周年にあたります。この 50 年間で、アジレントの業界初の製品が現在の GC カラムの基盤を築いてきました。

GC 機器の生産性と性能を最大限に引き出すために、Agilent J&W GC カラムをご活用ください。

explore.agilent.com/jw50-columns



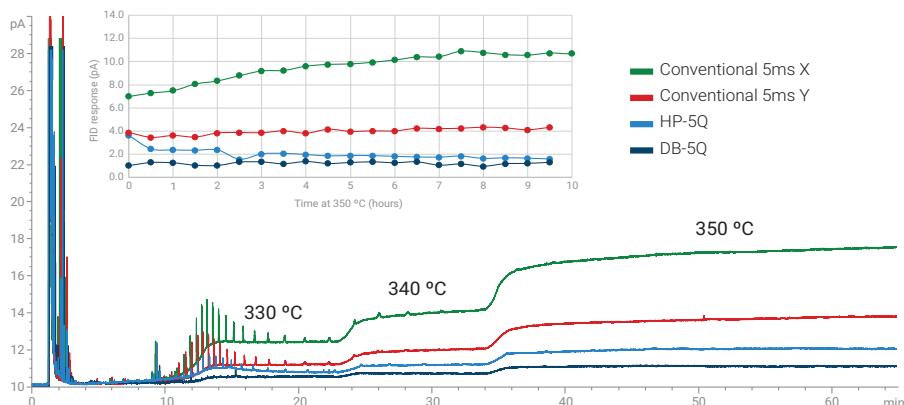
Agilent J&W 5Q GC カラムの
豊富なラインアップ

www.agilent.com/gcms/5q-columns

MS性能の限界を押し広げる Agilent J&W 5Q GC カラム

超低ブリード性能がシンプルな質量スペクトル同定を実現

GC カラムで高温サイクルが進むにつれて、カラムブリードによりベースラインが上昇し、スペクトル干渉が発生して、データの質が低下することがあります。Agilent J&W 5Q GC カラムは、超低ブリードケミストリで設計されているため、カラムブリードの影響を大幅に低減できます。

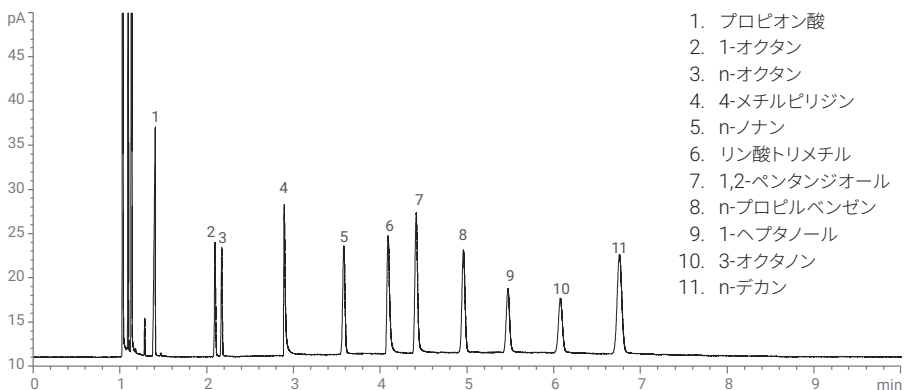


従来の 5ms カラムと比較して、Agilent J&W 5Q GC カラムはブリードプロファイルが著しく低く、その結果、ベースラインがより安定します。ベースラインの安定性が向上することで、正確な積分が可能になります。特に S/N 比の低い微量成分ではそれが顕著です。

[技術概要 5994-7586EN を読む](#)

優れた不活性度で低濃度の活性化化合物を確実に定量

不活性処理されていない GC カラムはピークテーリングを引き起こし、それによってシグナルや感度の低下が発生します。Agilent J&W 5Q GC カラムは、業界をリードするウルトライナート不活性処理を採用しているため、厳しい規制要件によって下がり続ける検出下限を達成できます。



Agilent J&W 5Q カラムはすべて、要件の厳しい UBER One 試験混合物で試験されており、分析困難な活性化化合物で一貫した信頼性の高い性能を発揮します。

[技術概要 5994-7586EN を読む](#)

Agilent J&W 5Q GC カラムは、高効率、水素対応、バックフラッシュ対応です。

www.agilent.com/gcms/5q-columns

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE36557409

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2024
Printed in Japan, July 26, 2024
5994-7659JAJP